

川越市国民健康保険 第2期保健事業等実施計画(データヘルス計画)の結果について

資料2

1 計画全体の評価

項目			毎年度評価項目	平成28年度	令和4年度	令和5年度	備考
基本データ	平均寿命(歳)	男性		80.38	81.55	81.54	埼玉県衛生研究所「地域の現状と健康指標」より
		女性		86.04	87.35	87.43	
	65歳健康寿命(歳)	男性		17.10	18.01	18.05	
		女性		19.88	20.66	20.82	
標準化死亡比(SMR) ※1	心疾患	男性		108.9	105.3	111.7	
		女性		118.6	109.5	108.4	
	脳血管疾患	男性		98.3	106.4	108.2	
		女性		110.7	112.7	116.2	
医療	総医療費(円)		○	29,111,838,052	25,657,755,998	25,283,815,463	事業年報より 1人当たり医療費=総医療費÷年度平均被保険者総数 H28:90,337人 R4:71,411人 R5:67,384人 KDB※2より 毎年度1ポイント減少
	1人あたり医療費(円)		○	322,258	359,297	375,220	
	新規人工透析患者数(人)			85	61	62	
介護	総給付費(円)			1,394,560,000	1,847,625,000	1,976,460,000	介護保険事業状況報告(R6年3月月報)厚生労働省HPより
	認定者数(人)			13,136	16,957	18,096	介護保険事業状況報告(R6年3月月報)厚生労働省HPより
健診	特定健診受診率(%)		○	40.7	38.7	43.7	法定報告より(R6.6.26現在) R5目標値 60.0%
	収縮期血圧の有所見率(%)		○	49.2	47.4	46.7	KDBより(R6.7.9現在) 計画策定時目標値 45%以下
	拡張期血圧の有所見率(%)		○	21.0	21.1	21.1	KDBより(R6.7.9現在) 計画策定時目標値 18%以下
	HbA1cの有所見率(%)		○	55.8	57.1	59.8	KDBより(R6.7.9現在) 計画策定時目標値 50%以下
	特定保健指導実施率(%)		○	14.0	18.5	8.1	法定報告より(R6.6.26現在) R5目標値 60.0%

※1 標準化死亡比(SMR):ある集団の死亡率を年齢構成比の異なる集団と比較するための指標。表中の数字は埼玉県の平均を100とした時の、本市の死亡率

※2 KDB:国保(K)データ(D)ベース(B)(システム)

※ 実績値が、目標値を上回ったものは、下線を引いています。

※ 基本データおよび標準化死亡比は、その年度に埼玉県衛生研究所が公表したもの(原則公表年度の前年度データ)

(別紙)個別保健事業の指標 令和5年度進捗状況 (特定健康診査、特定保健指導の受診率は、令和6年6月末現在)

①生活習慣病重症化予防事業

事業		ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
糖尿病性腎症重症化予防事業	評価指標	①事業の予算確保 ②県共同事業参加	①医療機関へ文書による参加呼びかけ ②実施医療機関向け説明会実施、事業結果のフィードバック	①参加医療機関数 ②保健指導参加者数	新規人工透析移行者 (H28 85人)	・R5年度参加者数 保健指導参加者:41人 継続支援参加者:10人 計51人 ・重症化リスクのある方へ通知(264通)、更なる電話による受診勧奨を実施。 ・その他 ①過去の事業修了者に、電話による状況確認、受診勧奨及び保健指導を実施 対象47人 実施10人 ②糖尿病性腎症重症化予防を目的とした歯科検診の受診勧奨通知を発送 161人
	目標	①予算確保 ②事業参加	①実施 ②実施	①40医療機関 ②50人	毎年度1%減少	
	実績	①予算確保 ②事業参加	①実施 ②実施	①48医療機関 ②51人	62人 R4年度より1.64%増加	
高血圧症予防事業	評価指標	①事業の予算確保 ②保健指導従事者の確保	①受診勧奨実施(通知・電話) ②保健指導の継続実施	保健指導実施人数	①事業参加者のうち血圧の数値が改善した人 ②生活習慣が改善した人 ③受診した者	・特定健診結果より高血圧のリスクのある者2,012人に対して、通知を発送。 そのうち、Ⅲ度高血圧者及びⅡ度高血圧者に、電話による保健指導(受診勧奨及び生活指導)実施。電話番号が分かる432人に対し延べ435回架電し、193人(本人170人、家族23人)に生活状況等の確認、保健指導、受診勧奨を行った。さらに健診結果、電話での内容から継続指導が必要と判断した30人に電話及び対面による継続指導を実施した。
	目標	①予算確保 ②従事者確保	①実施 ②実施	40人	①60% ②60% ③60%	
	実績	①予算確保 ②従事者確保	①実施 ②実施	初回電話による保健指導 193人 継続指導 30人	①83.3%(25人) ②70.0%(21人) ③40.0%(12人) (継続指導30人中)	
個人の状況に合わせた啓発	評価指標	①啓発実施に係る予算確保 ②対象者の抽出	対象者に応じた受診勧奨案内作成	啓発実施件数 (通知・電話計)	血圧の受診勧奨対象者率(特定健診) ①収縮期血圧 ②拡張期血圧 (H28 ①49.2% ②21.0% 保健指導判定値)	高血圧症の段階の分け、それに応じた受診勧奨案内を行った。 通知勧奨:合計2,012件 ・Ⅰ度高血圧 1,529通 ・Ⅱ度高血圧 404通 ・Ⅲ度高血圧 79通
	目標	①予算確保 ②実施	作成	800件	①45%以下 ②18%以下	
	実績	①予算確保 ②実施	作成	2,012件	①46.7% ②21.1%	
資料提供による啓発活動後押し	評価指標	健康づくり支援課との調整	①啓発用資料作成 ②啓発機会の定期的な把握	資料を活用した啓発の実施回数	血圧の受診勧奨対象者率(特定健診) ①収縮期血圧 ②拡張期血圧	・市内の支会ごとの健診受診率や有所見率、メタボ該当率との相関等を比較した資料を作成し、啓発に活用した。 ・令和4年度の特定健診受診率が一番低かった高階地区については、地区での啓発のため、市民センター展示コーナーで特定健診に関する掲示を実施した。 ・健診受診率が低い地区の公民館だよりに、データを用いて記事を掲載した。 ・受診率が高い地区の保健推進員に、データを見せながらインタビューを実施し、更なる受診率向上に向けて啓発した。 ・他保険者の健診情報を集約して合同チラシを作成し提供した。
	目標	実施	①作成 ②実施	10回	①45%以下 ②18%以下	
	実績	実施	①作成 ②実施	10回	①46.7% ②21.1%	
糖尿病性腎症重症化予防を目的とした歯科の取り組み	評価指標	①事業の予算確保 ②県共同事業参加	対象者へのチラシ発送	チラシ発送件数	歯科受診人数(歯科受診者割合)	令和2年度から新規に取り組んだ事業 対象者:糖尿病の可能性があり医科医療機関未受診でかつ歯科也未受診の者。 もしくは糖尿病のため医科医療機関受診中の者で歯科は未受診の者 対象者に糖尿病と歯周病の関係、口腔ケアの重要性を記載したチラシを送付し、歯科受診を勧奨する。
	目標	①予算確保 ②共同事業参加	発送	-	対象者の10%以上	
	実績	①予算確保 ②共同事業参加	発送	161件	26人(16.1%)	

②啓発

事業		ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
地区ごとの啓発	評価指標	①健康づくり支援課と定期的な打合せ実施 ②地区別啓発用資料作成	①地区の傾向の分析実施 ②傾向に応じた啓発の検討(R1年度以降)	地区の傾向に応じた啓発の実施回数	各地区の健診受診率(H28市全体の受診率40.7%)	○令和4年度(R5.6.30現在)の地区別健診受診率・有所見率等をまとめ、健康づくり支援課地区担当保健師に情報提供した(後期高齢者医療健康診査の結果と一緒に)。 ○地区担当保健師が中心となり、地区からの依頼事業の際に、チラシの配布等を行いながら、地区の傾向に応じた啓発を実施した。また、地区でのイベント(文化祭、健康フェスタ等)で健康相談等に呼ばれた際や、シェイプアップ運動教室(主催事業)実施の際にも同様に啓発を行った。 ○コロナもあけ、地区での保健師活動(依頼)が少しずつ増えてきており、その際に健診受診率向上のための啓発にも力を入れてくれている。国保課保健師も、参加できるものには一緒に参加するほか、受診率が低い地区の市民センターに状況を伝え、公民館だよりの掲載や、保健師不参加のイベントに啓発グッズ(絆創膏等)を配布してもらった。
	目標	①実施 ②資料作成	①実施 ②検討	毎年度70回	毎年度2%上昇	
	実績	①実施 ②資料作成	①実施 ②検討	35回 (延べ1,770人)	令和4年度受診率と比較し、 上昇した地区:12(4.1~7.1%) 下がった地区:0	
啓発媒体ごとの効果検証	評価指標	検証方法の決定(H30年度)	検証のための情報収集(アンケート等)(R1年度以降)	効果検証の実施	検証に基づく啓発改善(R1年度以降)	・健診アンケートによる効果検証や前年度の健診未受診者調査の結果に基づき、ポスター及び市ホームページを改善した。
	目標	決定	情報収集実施	毎年度1回	毎年度1回	
	実績	決定	情報収集実施	1回	1回	
特定健診未受診者へタイプ別受診勧奨	評価指標	①勧奨に必要なチラシ等の予算確保 ②タイプの分類方法の決定	①健診未受診者のタイプ別分類 ②タイプに合わせた勧奨の実施	勧奨件数(電話・通知計)	①特定健診受診率 ②受診勧奨対象者の受診率	通知勧奨:35,943件 5タイプに分けた。 タイプ1:過去3年間に1回以上受診かつ問診で週2回の運動を1年間以上実施 タイプ2:過去3年間に1回以上受診 タイプ3:過去3年間に1回以上受診かつ問診で20歳から体重が10kg増加 タイプ4:過去3年間に1回以上受診かつ問診で生活改善するつもりない タイプ5:過去3年間に1回も受診していない
	目標	①予算確保 ②決定	①分類実施 ②勧奨実施	毎年度10,000件	毎年度2%上昇	
	実績	①予算確保 ②決定	①分類実施 ②勧奨実施	電話0件 通知35,943件	①5.4%増(43.7%) ②3.2%減(28.2%)	
インセンティブ提供	評価指標	①提供方法決定(H30年度) ②予算確保	インセンティブ提供方法の整備・周知(R1年度以降)	提供件数(R1年度以降)	①特定健診受診率(R1年度以降) ②若年層(40~50代)受診率	・特定健康診査受診者へのインセンティブとして、抽選でQUOカードを提供(千円分を90名)。応募口数を①60歳未満の方②6月~8月に受診した方は2口扱い、③①と②両方に該当する方は3口扱いとした。
	目標	①決定 ②予算確保	実施	実施	毎年度2%上昇	
	実績	①決定 ②予算確保	実施	90件	①5.4%増(43.7%) ②1.9%増(20.9%)	
健診結果・診療情報提供事業の拡充	評価指標	予算確保	特定健診未受診者への周知	診療情報の提供数(H28 387件)	健診結果・診療情報による受診率の向上	・人間ドック、職場健診322件(5件減) 診療情報提供事業:個人申請分25件(18件増)、医療機関申請分181件(令和5年度より開始) ・未受診者で通院している方へ診療情報提供の通知を送付した。(7,554件送付)
	目標	予算確保	実施	毎年度15件増加	毎年度2%上昇	
	実績	予算確保	実施	194件増加(528件)	5.4%増	
医療機関へ健診趣旨の再周知	評価指標	医療機関との調整(30年度)	受診率向上への協力依頼を含めた研修会を実施(R1年度以降)	研修会実施	説明会参加医療機関	・コロナの影響により、研修会、説明会は実施せず。 ・特定健診実施医療機関に対して、特定健診等の事業の実施率、健診結果等の地区別データをまとめた資料を提供した。
	目標	実施	実施	毎年度1回	10機関	
	実績	実施	R1年度実施	—	—	
重複受診・頻回受診や重複服薬患者への指導	評価指標	事業の予算確保	対象者の抽出	通知発送件数	通知発送3ヶ月後の受診・服薬状況の改善	令和2年度から新規に取り組んだ事業 ・対象者令和5年7月のレセプト情報から以下の抽出基準に該当した対し「服薬についての相談のご案内」を送付。またアンケートを同封した。 ①併用禁忌、同一成分、同種同効いずれかに該当②多剤かつ傷病禁忌または長期処方該当③傷病禁忌のみ④有害事象に該当せず、多剤(10剤以上) 実績:通知発送者3,000人のうち、薬局からのアンケート回収は269件(複数機関から回答あり、実人数は263人。返信率8.8%)。返信薬局数は115軒。 通知発送後、3か月間経過観察し、効果検証を行った。 ○重複:対象301人 改善192人 改善率63.8% 削減額 969,931円(1人当たり 3,222.4円減額) ○多剤:対象2,281人 改善745人 改善率32.7% 削減額 1,662,171円(1人当たり 728.7円減額) ※重複と多剤を兼ねる者226人あり ※有害事象発生リスクがある者 対象2,730人 改善758人 改善率27.8%
	目標	予算確保	実施	200件	1人当たりの処方薬剤金額 通知前の10%改善	
	実績	予算確保	実施	3,000人	重複: 35.2 % 多剤: 18.0 %	

③環境整備

事業		ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
医療機関等との連携	評価指標	①医師会・医療機関との調整 ②医療機関への提供資料準備	①アンケートの実施 ②資料提供 (①②ともR1年度以降)	アンケート実施及び資料提供	集まった意見に対する改善	・特定健診実施期間終了後にアンケートを実施した。 ・特定健診実施医療機関に対して、特定健診等の事業の実施率、健診結果等の地区別データをまとめた資料を提供した。
	目標	①実施 ②資料準備	①実施 ②実施	毎年度1回	毎年度1回	
	実績	①実施 ②資料準備	①アンケート実施 ②健診受診状況等の資料を提供	資料提供 1回	1回	
庁内他部署との連携	評価指標	①関係課と定期的な会議を設ける ②他部との調整	①庁内会議参加 ②他部イベントでの特定健診PR実施 ③他部と連携した保健指導の実施(スポーツ教室の紹介等)	①庁内会議参加数 ②他部の教室・イベント等の紹介数	①特定健診実施体制 ②特定保健指導実施率	①庁内会議参加数 ・ときも健康プロジェクト会議:7回開催 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体化会議への参加:作業部会5回、検討部会1回 ②他部のイベントでの特定健診PR ・生涯スポーツフェスタ、SDGsアクションフェスタ、介護予防普及啓発講演会、地域包括支援センターひがし体力測定会(東部地域、芳野公)、医療介護フォーラム ③他部の教室・イベント等の紹介 ・(福祉部)地域包括支援センターの紹介及び事業紹介、医療介護フォーラム、介護予防普及啓発講演会 ・(文化スポーツ部)生涯スポーツフェスタ ・(保健医療部内イベント等)熱中症予防、フレイル予防、健康フェスタ、世界糖尿病デー講演会&ライトアップ、歯ッピーフェスティバル、健康まつり ※歯ッピーフェスティバルはオンライン開催 ④その他(こども未来部)子育て情報誌「こえどちゃん」に原稿提出
	目標	①実施 ②実施	①参加 ②実施 ③実施	①5回 ②3件	①改善 ②毎年度2%上昇	
	実績	①実施 ②実施	①参加 ②実施 ③実施	①6回 ②イベント等の紹介4件(他部) ※同部内を含むと、10件	①ときも健康プロジェクト会議で関係課と受診率向上について協議 ②8.1%(1.8%減少)	
関係団体等との連携	評価指標	関係団体との協力体制構築	啓発内容等協力して実施する事業内容の調整	協力関係団体数	啓発等の協力実施回数(回)	・関係団体等との協力体制構築の取組み ①関係団体への健診受診勧奨チラシの配布 ②健康づくり支援課の地区担当保健師及び地域包括支援センター・社会福祉協議会に、地区別受診結果を地区ごとにまとめた資料を提供し、地区での活動(受診啓発)に活かしてもらった。 ③市国保のほか、協会けんぽ、建設国保、土建国保、後期高齢、がん検診の内容が記載された合同チラシを作成 ④協会けんぽと連携。特定保健指導従事者研修会及び情報交換会に協会けんぽの特定保健指導従事者の参加を案内。生活習慣病予防講演会について、協会けんぽの被保険者・被扶養者に情報提供。講演会当日、協会けんぽの保健師に参加していただいた。 ⑥市の包括連携協定締結企業と連携し、ポスター掲示・チラシ配布を依頼(郵便局・保険会社)
	目標	体制構築	実施	10団体	5回	
	実績	体制構築	実施	28団体	28回以上 (各団体1回以上)	